



マゴボウの圃場を視察する馳知事(宝達志水町森本)

JAはくい押水花木部会

まに挑む若手 花木振興へ知事にPR

いますが、

年草で、

般的には雑草とされて

ブドウのような黒い実をつける多

勧められ、

しました。

条間を広く取って乗用 今年7月に初めて出荷 市場関係者から生産を

ています。

草刈機を使うことで省力化を図

チャーターしている現状を伝え、 クアップしたい」と話し、増産 請しました。 輸送コストの軽減などの支援を要 産者は、 送費がかかるのでは」と質問。生 いることに対し、 マン」の集出荷作業を見学。 続いて、県産高級ブドウ「ルビー 年間を通じて県内外に出荷して 「商品化率を高めるようバッ 夏場は単独で冷蔵便を 馳知事は

支援する意向を示しました。



を始めた「ヤマゴボウ」の圃場を視察。

若手農家が試験的に栽培

で150種類以上を栽培しています。

アレンジメントの花材として使われる 同町押水地区は、生け花やフラワー

町内では、27戸が約19 ha

志水町の花木産地を視察しました。

右川県の馳浩知事が8月7日、

Aはくい押水花木部会の生産者らと意

「産地の取り組みをPR

していくことが大事」と語りました。

ルビーロマンの集出荷場(JA南部育苗センター)

6年産米初検査

づほ」22・6tが持ち込まれ、J 行いました。早生品種「ゆめみ 6年産米の初検査を雁田倉庫で JAはくいは8月28日、令和

Aでは高温対策として、中干し 温登熟年となったことから、 今年度も昨年に引き続き、

正な検査に努め、しっかり対応 呼び掛けてきました。 してほしい」と語りました。 本好和組合長はあいさつで 倉庫担当者ら約30人が参加。 況に応じた上乗せ追肥の実施を 終了後の飽水管理や、 初検査には、JAの検査員や 圃場の状 適

知

Aの農産物検査員が整粒歩合や 全量

ず、品質は総体的に良好でした。 水分含有量、被害粒の有無など 高温による乳白粒はほぼ見られ 付けしました。懸念されていた を入念に検査し、全量1等に格

「食味分析システム」 土づくりに活かして

JAはくい営農センター(宝達志水町子 浦ろ2) に「食味分析システム」を設置して います。玄米(サンプル袋)から「食味成分」 「外観品質」を測定します。

※平日 8:30 ~ 17:00(1 検体 税込220円)



【お問合せ】米穀課 ☎29-3122

高



手作りした「米袋エコバッグ」を手に(JA本店)

JAはくい女性部 米袋でエコバッグ作り

JAはくい女性部は8月27日、 JA本店で米袋を使ったバッグ作り を楽しみました。午前と午後の教室 に計44人が参加しました。 雑誌『家の光』9月号の記事「やさしいハンドメイド」を参考に、J A女性部の宮崎禮子部長と家の光協 会の佐川啓太さんが指導しました。 制作したバッグは高さ35cm、幅49cm。持ち手の部分は、クラフトバンドを穴に通して結んで取り付けて完成させました。お気に入りの布を持参して、アクセントに貼りつけたり、底面を補強したりする人もいました。

参加者は「馴染みのあるデザインに愛着が湧く」「畑で採れた野菜を入れて、離れて暮らす子や孫に贈りたい」と喜んでいました。

SDGsの一環として米袋の再利用を提案しながら、米消費拡大のPR効果にも期待した取り組みとして、全国各地で広がりを見せています。宮崎部長は、「親子向けにワークショップを開きたい。バッグに絵を描いたりして、きっと楽しいと思う」と意気込んでいます。

JAで年金をお受取りの皆さまへ

年金感謝デー10/15火・16米



ェーコープマーク品 レトルトカレー (辛口・中辛)セット

当日、年金お受取り口座の「JA通帳」をご持参のうえ、ご来店いただいた方に、プレゼント! ※数に限りがあります。

【お問合せ】各支店・貯金課 ☎26-3340



に合わせて精米しています。 管内 0) ゃくまん穀」などを3㎏から量り売りし 販売を開始。 Aグリーンはくい で収穫された 店頭 精米コー は9月2日から、 Ю['] め いみづほ ぜひ、ご利用ください では、 J 和 Aはく

予和6年産 新米販売はじまる

JAはくい管内の農家の皆さんへ

農家応援商品券の 使用期限が間近です

使用期限

9/30 (月)

能登半島地震の農業者へのお見舞いとして 令和6年2月に対象者に発送しています。

対象店舗: JAグリーンはくい(9/29迄)・アグリショップ宝達

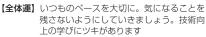
JAグリーンはくい

棚卸の為臨時休業

9月30日(月)

※アグリショップ宝達は営業します







生品種 期の確認で、 栽培され 判断しました。 チェックし、 象被害の 混入がない る羽咋市の採種圃で8月20 行われました。 水稲種子の生産指定を受け 昭 関係機関による圃場確認 .市白瀬地区と神子原地区 和2年に採種圃指定を 「コシヒカリ」の糊熟 有無などを厳しく か、 おおむね適合と 変種や異品種の

水管理や病害虫防除などを **がみづほ)」** 県内でも古い歴史を持 「能登ひかり」 優良種子の生産に努 今年度の生産戸数は ています。 61 ha で の い3品種 「コシヒ |石川43

Aはく

E W

はくい三銃士

れています。

羽咋神社に伝わる「怪鳥伝説」に登 場する3匹の犬「シロ」「クロ」「ブチ」 をデザイン。村を荒らす怪鳥の羽を

犬たちが食いちぎって倒したことか

ら「羽咋」という地名がついたとさ

神子原種子生産組合

圃 場 確

中 騰や生産者の高齢化と、 は年々厳しくなるが、

今回は、

めており、 たい気持ちもある」と話して 続く種子産地を守っていき 生産者は 「資材高 戦後 状況



病害虫や気

水稲種子の圃場を確認する関係者(羽咋市白瀬町)

級品種で、

11戸

クと呼ばれる高

幻のイチジ

が

約

40 а

で栽

培。

果肉は紅色

で糖度が

高

で売り込んで

黒蜜姫」の愛称

シャインマスカット

出荷を迎えたシャインマスカット(JA南部育苗センタ-日 9月下旬までに、 ランド化を進めています シャインマスカット」 が栽培しており、 初出荷しました。 に対応する狙いです。 を目指します。 たといい、米沢忠尋部会長は「 法で長期貯蔵し、 出来栄えだ」と話しました。 今年は、

甘く大粒に仕上が

収穫を迎えた黒蜜姫(宝達志水町上田)

Aはくい押水いちじく部会 黒イチジク 「ビオ 11

高級イチジク

「黒蜜姫」

初出

JAはくい押水いちじく部会

レソリエス」の出荷を始めまし

は8月2日、

目指します。 市場に向けて、 月上旬までに、

4.2 t の出荷を 金沢や東京



来店客と交流するジローラモさん

JAグリーンはくい ジローラモさん来店

のと里山自然栽培部会と 交流のあるタレントのジロー ラモさんが8月18日、福島 県会津美里町で育てた有機 栽培米をJAグリーンで販売 しました。



のと里山自然栽培部会 田んぼの圃場巡回

Aはくいぶどう部会は8 「シャインマスカット

部会では31

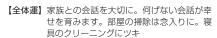
のと千里浜

の名で、

のと里山自然栽培部会は 8月21日、圃場巡回を行い、 生育状況や雑草抑制効果な どを確認しました。今年度 は、13人が20.8haで作付 けしています。









部は特殊な方 3千房の出

年末の特需期

JAはくいぶどう部会

枚程度にする葉かき作業が行 れました。 15枚に茂っ 葉かきをするこ た葉を、 5

月 23 日、

生産者4戸の圃場を

神子原くわい生産組合は8

状況を確 巡回しました。

認し、

病害虫の適期 各圃場の生育

除などを呼び掛けました。

月上旬から中旬には、

1

神子原くわい生産組合

口

況

と話します。 て んぼの何倍も手間がかかる 平久信生産組合長は 産者を育てていきたい きたいと思うし、 地域の伝統野菜を守っ 11 月上旬に収 若い 田田

穫を迎えます。 ト茎の発生を促します。

とによって、 実を付ける地

神子原くわいの生育状況を確認した(羽咋市菅池町)

JAはくい女性部

放課後クラブで食育

JAはくい女性部は8月、羽 咋市内の放課後児童クラブ(羽 昨・邑知・瑞穂)へ出向き、歌 やクイズを交えて、食の大切さ を伝えました。おやつに用意し たゼリーと、ごはんを混ぜ入れ たワッフルが大変好評でした。



野菜が登場する手遊びをしました (瑞穂放課後児童クラブ)

部会では、

· 38 戸が

桝井ドーフィ

シ 16

県 7.6 内 ha

で栽培しており、

を持ち込みました。

生

JAはくい押水いちじく部会 押水特産 イチジク出荷始まる



初出荷されたイチジク(JA押水青果物集荷場)

ました。 でに、 分甘み 進さんは イチジクに 出荷した高崎 うます。 11月上旬 出荷を目 つ が は の てもら つ 順 約 45 ع のあ た。 調 に 話 味 多

て初出荷されました。 産のイチジクが8月 宝達志水町押水地 金沢市場へ向

初出荷に

います。 最大の生産量となっ

栽培を手掛ける3戸 は ウ 7

たんぽぽデイサービスセンター



今年も梅干し作りに挑戦しまし た。みんなで手を掛けた、おいし い梅干しが完成しました!

多機能ホームJAたんぽぽ つこつと雑巾づくり



施設で使う雑巾作り。一針一針 丁寧に、フェルトのモチーフ付き でかわいく仕上がりました。

たんぽぽデイサービスセンター

たんぽぽオリンピック



夏を盛り上げたオリンピックに ちなんで、手作りの金メダルを 使ってゲームを楽しみました。

多機能ホームJAたんぽぽ 体操も楽しまなくちゃ



指先に花紙を付けて、「赤上げ て♪青上げて♪」と、楽しみなが ら頭と身体の体操をしています。

割りをしたり、 で競い合ったり 楽しみました。 ました。 夏まつり いや的当て す を開



夏まつりを楽し 羽咋市デイサービスセンタ み Ė た

『介護職』『看護師』を募集しています/

「あなたの力」で、みんなを笑顔にしてみませんか!

【お問い合わせ】福祉ふれあい課 多機能ホームJAたんぽぽ ☎29-2880





杀」プレゼント♪ はとむぎ加賀棒

上位入賞者には



[だいこん集出荷作業] アルバイト募集

■時期:10月上旬~11月上旬 ■職種:①だいこん投入及び選別

②だいこん箱詰め及び箱パレット積み

■時給:1.000円

■時間: 18:00 ~ 16:00 29:00 ~ 17:00

■場所:園芸総合集出荷場(羽咋市中川町へ11-1)

【お問合せ】園芸課 ☎29-3155

稲わら還元と土づくり資材の徹底を

近年では、高温や豪雨等の気象変動が激しく、 安定生産の基盤維持が大変困難となっています。

能登やさしいたんぼづくりの 技術項目に掲げるとおり、稲わ らの還元を基本とした土づくり 資材の徹底による地力の増進対 策が、気象変動に耐え得る重要 なポイントとなります。



善され

ます。

マメ科は根粒菌により 一で野菜の根の環境が改

水性の向

腐植が作られ、

団粒構造の形成、

気中の窒素を固定し、

土壌が肥沃

【お問合せ】米穀課 ☎29-3122・経済課 ☎26-3339

農業用廃プラスチック類収集 不要農薬の回収のご案内

野焼きや不法投棄は法律で罰せられますので、正しい処理 で清潔な環境を保つために、JAが収集(回収)処理します。 申込書に必要事項をご記入の上、下記収集(回収)場所にご持 参ください。

日時: 10月30日(水) 午前8時30分~正午

農業用廃プラスチック類収集

収集場所:カントリーエレベーター前(羽咋市深江町ト25) 対象品目:農ポリ、ハウスビニール、マルチ類、肥料袋

農薬の空容器、育苗箱

★育苗箱の処分を予定される方は、事前に箱数をご連絡ください。

処理料金:85円/kg (最低基本料金425円)※稅込参考料金

不要農薬回収

回収場所:北部育苗センター (カントリーエレベーター横)

処理料金:・一般農薬 550円/kg

800円/kg ・不明農薬

· くん蒸剤 3,400円/kg ※税込参考料金

特定の

病害虫を防除するために栽

土壌中の寄生性センチュウや病

ます。

る「緑の肥料」です。

「対抗植物」

は

|緑肥||は青刈りして土壌にすき込

抗

植

物

栽

土壌を肥沃にする目的で栽培さ

申込締切:10月23日(水)

※当日は、 **印鑑** をご持参ください。

※処理料金は、後日請求させていただきます。

※収集・回収の詳細チラシ兼申込書は、本店 経済課・営農センター・ JAグリーンはくい・アグリショップ宝達に設置してございます。

【お問合せ】 経済課 ☎26-3339

原菌の

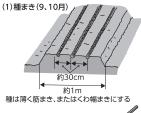
密度を下げ、

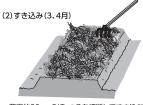
被害を減らすこ

IJ

とができます

図1 ヘアリーベッチの利用





草高約30cmの頃、つるを細断してすき込む

図2 障壁効果のあるソルガム

畑にナス、トマト、サトイモなどを育て、 ソルガムは周囲に植える



まき、 ために アリーベッチ(図1)では、 秋まきでは、 ・もイネ マメ科 科のエン麦やライ麦を 裸地になるの のクロー 翌年花

となります

マリ ロタ とで被害を軽減できます き、 密度を下げることができ 3カ月程度育てれば、 ラリアなどの対抗植物を春にま ゴー の キタネグサレセンチュ ル ドなどを作付 セン けす ゥ チ

1虫を の改善と同時に、 これ 抑えられることです 働きをします。 らの植物は種類によっては、 土着天敵などを活用 有 機物が微生物に分解され 畑 の生態系を多 共通点は、 して病 土

チ げ 根にこぶを作って養水分の吸収 て生育を阻害します。 ウ えます。 、リ科をはじめ多くの野菜に被 は 地温の高 ネコブセンチ マリーゴ りり 夏 この 秋 , ユ ウ ル ド セン やク 増 を妨 Ú

風などの障壁効果も期待できます 以外にも害虫の飛来阻止 をくわや耕運機で2、3回すき ニアグラスなどを栽培し、 作物は草丈が伸び などが植え付けできます。 その後、 キャベツやブロ 土づくり (隔離 夏に茎葉 込 ツコ 防

きではイネ科のソルガム(図2)、 を楽しんだ後にすき込みます。

関東南部以西の平たん地を基準とする。

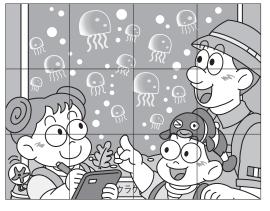
まちがい探し



JAグリーンはくいの商品券 1000円分(抽選で10名様)

右のイラストには左のイラストと違う部分が5ヵ所あります。 間違っている部分を下のイラストの中の数字でお書きください。

見つけて スッキリ!





先月号(8月号)の答え

5 … うちわの持ち手が短い

6 … おばあちゃんの服 の襟がない

8 … 綿あめの大きさが違う

9 … ポイが破れている

11 … ボウルに金魚が入っ ていない

方 法

ハガキに ①答え(5ヵ所の番号) ②住所・氏名・ 年齢・職業・電話番号 ③ご意見・ご感想・身近な 話題などを添えてご応募下さい。

先/〒925-8588 羽咋市太田町と105 JAはくい本店 広報担当

●応募締切/9月30日(月) 当日消印有効

☆郵送または最寄りの支店にご持参ください。

☆QRコードの応募フォームからもご応募いただけます。

※ご応募いただいたお客様の情報は、抽選及び発送の目的以外には利用いたしません。 ※ご意見やイラストは誌面で紹介する場合がございます。

8月号のご応募ありがとうございました。(応募55通)

岡田由起子 様 中本 明美 様 大西 蓮 様 豊田 鈴子様 坂口 敏子様 本吉 昌代 様 岩城 馨 様 山戸すみ江 様 中越美保子 様 三門佐代子 様





JAバンクのシステム更改により 伝票が変更となります

I Aバンクの全国システム更改に 伴い、お客様にご記入いただく伝票 が新しくなります。現在記帳台に設 置している伝票はご使用いただけな くなりますのでご注意ください。

○変更日

羽咋支店 9月26日(木)から 宝達支店 10月2日(水)から

理事会だより

第5回理事会

8月22日(木)

.」 △ 木店 大会議室

<議 案>

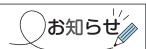
(1) 令和6年産米生産者仮渡金の設定について

(1) JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタ リング報告」

編集後記●

今月号の表紙は、8月16日に管内のトップ を切って稲刈りをスタートした羽咋市の農家さ んを訪ねました。能登半島地震を受け、修繕が 必要な水路もあったといいますが、「地震で作 付けできない農家もいた。こうして稲刈りがで きることは幸せだよ」とおっしゃっていました。 地震を乗り越え、収穫を迎えた実りに感謝し て頂きたいと思います。(坂元)

^{第8回} JAはくい組合長杯



ゴルフコンペ参加者募集

ゴルフを通して地域の皆さまと親睦を図ろうと、JAはくい組 合長杯ゴルフコンペを開催します。組合員・地域の皆さまのご参 加をお待ちしております。

開催日: 11月3日(日・祝日)

所:朱鷺の台カントリークラブ(能州台コース)

間:午前8時3分(1組目スタート)

予定人数: 20組80名(予定人数になり次第、受付終了)

参加費:1,000円(プレー代は各自ご負担願います)

※当日は、成績発表及び懇親会は行いません。

賞品等は、後日お届けします。

申込受付: 所定の申込書を本店または支店までご提出願います。

右下QRコードからネット申し込みも可能です。

申込締切:10月11日(金)

【お問合せ・お申し込み】

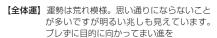
宝達支店 ☎29-3133 (担当:白川) 羽咋支店 ☎26-0008 (担当:西村)

総務部 ☎26-3333 (担当: 髙木・西井)











産物品評会: JAはくい2024 参加者募集

秋の収穫感謝祭

10.26 , 27 **a**

会場:JAはくい本店 羽咋市太田町と105番地

※詳しくは、10月中旬に配布予定の新聞折込チラシ又は店頭にてご案内いたします

JAはくい押水花木部会

予 約 制 参加費無料

※写真はイメージです

はくいの特産!押水花木の魅力に触れてみよう♪



親子20組 / 参加費無料

親子で楽しむ アレンジメント体験

10月26日(土) 10:00~11:00

会場:JAはくい本店大会議室 講師:Flower & Gallery かどむら 対象:中学生以下と保護者

※希望者の人数によっては内容を変更する場合があります

(2人1組)

※応募者多数の場合は【抽選】とさせていただきます
※落選された方へのご連絡はございませんので、予めご了承ください

親子20組 / 参加費無料

親子で楽しむ スワッグ作り体験

10月26日(土) 11:30~12:30

会場:JAはくい 本店 大会議室 講師:Flower & Gallery かどむら 対象:中学生以下と保護者

(2人1組)

お申込み お問合せ J A はくい 園芸課 **し 29-3155**

▶右記のORコードからもお申込みいただけます



JAはくい女性部

予約優先



各20組 / 参加費無料

米袋エコバッグを 作ってみよう!

10月26日(土) 13:30~14:30 10月27日(日) 13:30~14:30

会場:JAはくい 本店 大会議室

講師:JAはくい女性部

対象:親子での参加も歓迎!どなたでもご参加いただけます
※30kg用の米袋とクラフトバンドで作ります

お申込み お問合せ J A はくい女性部 事務局 **26-3301**

▶右記のQRコードからもお申込みいただけます



第18回農産物品評会

あなたの自慢の農産物を 品評会に出品してみませんか?

各賞のほか、応募者全員に参加賞を進呈いたします ご応募をお待ちしております!

申込期限:10/22火まで 持込日時:10/24(水)~25(金)

9時~17時

持込場所:JA営農センター

(宝達志水町子浦ろ2)

区分	数量	適用
玄 米	300g	コシヒカリ 他
雑穀類	2合	大豆・小豆・芋類 他
野菜類	3本	大根・白菜・ねぎ 他
果樹類	5個	柿・りんご・いちじく他
花卉花木	5本	切り花・切り枝 他
菌茸類	5個	しいたけ 他

※出品物は品評会の会場にて10月27日(印に購入希望者による 入札を行い、売上金は福祉機関へ寄付いたします

お申込み お問合せ JAはくい 園芸課 **と 29-3155**







